

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市若林区文化センター
2 指定管理者	公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団
3 指定期間	平成30年4月1日から令和5年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》29,857人（前年度比80%）（R3.4月から新型コロナウイルス対策新規受停止・自粛要請） ①令和元年度 37,315人（音響設備改修工事につき6ヶ月休館・R3.2月新型コロナウイルス対策新規受停止） ②平成30年度 61,508人（昇降機改修工事につき1ヶ月休館） ③平成29年度 72,622人
	《事業》 ・若林区文化センターの運営管理 ・自主事業の開催 ・空き空間を利用した地域団体の文化活動支援
5 収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 148,383千円 (142,956千円) ・ その他市が負担した費用 10,552千円 (161,659千円) 《収入》 ・ 使用料収入 13,306千円 (17,127千円) ・ その他収入 800千円 (1,506千円) ( )は前年度決算額
6 利用者の声	《実施状況》 ・利用者アンケートの実施（令和2年9月11日から令和2年9月28日） ・「お客様のお声カード」の設置（通年） ・利用者懇談会の実施（令和2年12月12日）

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	条例等に基づき、利用者に公正・公平な施設の貸出を行っている。 コロナ禍においても感染症対策を十分に実施したうえで積極的に運営を行い、地域住民や地域団体による自主的な文化活動の場の提供や活動を支援している。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績は良好であり、配置状況も適切である。 個人情報の取り扱いや情報セキュリティ対策においても、研修等への参加や定例の打合せでの意識共有など図られ、望ましい運営管理体制が構築されている。 事故・災害発生時の対応体制については、併設施設と合同で避難訓練を実施する等、対応体制を確立している。	30/30
III 施設・設備の維持管理	施設・設備の維持管理業務においては、日常の自主点検に力を入れており、危険箇所の早期発見等に努めている。施設の運用瑕疵による事故等は発生していない。 環境への配慮についても、仙台市環境行動計画に則り、節電・節水・ごみの削減等積極的な取り組みを実施している。	24/24
IV サービスの質の向上	財団本部や仙台市主催の接遇研修への受講に努め、サービスの質の向上に取り組むとともに、館内での研修やOJTによる教育を行っている。 コロナ対策のため、規模の縮小などはしているものの積極的にイベントを開催し、市民からも感謝の声をいただいている。	28/28
V 施設固有の基準	併設機関との連絡会議を毎月開催し、それぞれの事業に関する情報交換や各機関の課題等を共有するなど、併設施設と連携した施設管理が行われている。 近隣住民が集まる避難所運営委員会への参加や、まちづくり協議会が開催する地域催事に協力する等、近隣住民や近隣組織とも良好な関係を築けている。	6/6

### 三 評価総括

#### 《指定管理者（公益財団法人 仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》

年度開始当初に始まった新型コロナウイルスの流行拡大により、人と人の交流を進め、文化芸術をもってより良い地域社会づくりを目的とする本施設において、人流停止、密集回避といった二律背反の状態、未知の状況となりました。この状況下、国等が示す感染対策ガイドラインに準拠し、コロナ禍における文化芸術活動機会の提供方法を探り、安全安心を基礎としながら文化芸術施設としての役割を発揮できるよう収束後を見据えて運営業務に当たりました。

施設設備等の維持管理については善良なる管理者としての注意義務を全うし、施設設備等の保守点検や小破修繕を行い、良好な状態の維持管理に努めました。近年増加傾向にある設備等の老朽化や経年劣化による不具合については、貴市への現状報告、対応策協議など適切な施設の維持管理に努めました。

防災危機管理については近隣七公共機関と連携協力し、共同防火管理協議会を設置、災害時の通報連絡や初期消火、避難誘導等を相互に連携して適切に対処できるよう訓練を実施しました。またAED操作方法や心肺蘇生方法等の救急救命講習を行い、有事の際のお客様安全確保に備えました。併せて定期的安全パトロールを実施し事故の未然防止に努めました。

利用者増進への取組みについては昨今の環境下に応じ、オンラインでの情報提供推進のため、動画配信サイト「YouTube」において、公式動画チャンネル仙台ひと・まちチャンネルのアカウントを開設しました。今後、更新頻度を高め、コロナ禍時代の文化・芸術情報の提供手段としてオンラインメディアツールを最大限に活用します。

自主事業についてはコロナ禍収束後に次へと繋ぐ手掛かりとするため、現況可能な感染対策を十分行っただうえで、若林区童謡フェスティバルやミュージックギャラリー等のコンサートを小規模開催しました。

以上により業務を遂行することができたものと捉えております。

#### 《施設設置者（仙台市）による評価》

施設の運営管理、維持管理、職員の窓口対応等のサービスについては、条例及び事業計画書に基づき良好な施設運営を行っているとして評価できる。また昨今の新型コロナウイルス感染症の流行のなか、感染症対策を徹底したうえで本来の機能を可能な限り果たすように努めている。具体的には、イベント時の座席間隔を本市のガイドラインで定める以上に厳格に設定するなど、感染症対策は現場の目線での確に行う一方、お客様の要望には出来るだけ応え、大ホールなどを除く個人利用室の利用減は抑えることができている。お客様の声の中には、他の施設はコロナで使うことができなかつたので若林区文化センターを使用したというものもあり、コロナ禍でもそれを理由に施設の果たすべき役割を放棄せず、できるだけ市民に寄り添った組織運営を十分行っているものと評価できる。YouTubeチャンネルの活用など、新規利用者呼び込みに効果があると期待される取り組みも実施しており、その反響などについては、引き続きヒアリング等行っていきたい。

#### 総合評価

S

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

#### 特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：若林区まちづくり推進部まちづくり推進課